



地域貢献活動のひとつ「あさきたシルクロード・なんでも相談会」。毎月1回開催される当相談会では、近隣の高齢者の参加率を高めるため、さまざまな企画をご用意。写真は、地域の宅配業者を2社お招きし、高齢者向け試食会を行った際の一コマです。

# いたる通信 93

ITARU CENTER

## 社会福祉法人に求められる、地域における公益的な取り組みについて

- 社会福祉法人いたるセンターでは、令和5年度（2023年度）事業方針において、「地域貢献活動へのアプローチ」を掲げています。地域共生社会の実現を見据えた、社会福祉法人に求められる地域における公益的な取り組みについて、地域社会の一員として社会貢献活動を牽引するため、今年度より新たに「地域貢献プロジェクト」を立ち上げました。
- 当法人の「地域における公益的な取り組み」は、次の10項目です。
- ① 通所施設における通院同行支援（無償）  
家族支援力が乏しい利用者、特にグループホーム利用者の通院同行支援を実施。
  - ② 通所施設における延長利用サービス（無償）  
通院等の家族都合により、契約時間外の見守りを実施。臨機応変に降所時間を延長
  - ③ 福祉ショップの運営  
通所施設との併設運営で、目黒区内14施設の自主生産品販売を実施
  - ④ 通所施設におけるボランティア受け入れ  
地域住民の方々のボランティアを受け入れ、障害理解を広げていく。
  - ⑤ 通所施設における実習生の受け入れ  
福祉系大学や専門学校と連携し、ソーシャルワーク・ケアワーク実習を実施。
  - ⑥ 成城89ネットワーク  
通所施設と同時期に隣接して整備された特別養護老人ホームおよび保育所と連携し、防災を含めた交流を行う。
  - ⑦ 外国人利用者に対する地域生活支援  
小規模保育事業所の利用者（外国人園児・保護者）に対する地域生活支援（行政手続き・通訳等）を行う。
  - ⑧ 法人ウェブサイトにへの相談対応  
法人ウェブサイトに寄せられる障害者等の相談メールに対し、適切な地域福祉資源の案内・紹介を行う。

- ⑨ あさきたシルクロード・なんでも相談会  
地域の町会・商店会・民生委員・ケア24・社会福祉協議会・病院などと協働・連携し、地域の高齢者向け相談会を実施。
  - ⑩ あさきたシルクロード・オレンジさん  
地域の町会・商店会・民生委員・ケア24・社会福祉協議会・病院などと協働・連携し、認知症予防等に対するサロン活動を行う。
- 地域貢献プロジェクトでは、こうした当法人の「地域における公益的な取り組み」の整理と検証とともに、法人全体として取り組むべき「三方良し」の社会貢献施策の立案と実行についても議論を重ねてきました。
- 特に「地域貢献としてやるべきことなのか」、「困っている人に対する支援になっているか」という2つの視点を軸に、「地域社会との「つながり」をより太く、より強いものとしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

### 目次 contents

- 01 社会福祉法人いたるセンター社会福祉法人に求められる、地域における公益的な取り組みについて
- 02 事業所通信 事業部からの情報発信
- 03 \*法人本部  
\*阿佐谷福祉工房  
\*クローバー・マルコ  
\*目黒本町福祉工房  
\*すまいる高井戸  
\*ピヨピヨおうちえん(保育)  
\*イタル成城  
\*パン工房ブクブク  
\*あけぼの作業所  
\*のぞみ寮
- 04 事業所通信 事業部からの情報発信  
\*グループホーム事業部  
\*サポートウイズ  
\*SDGs推進室  
ハラスメントから、自分を、他人を守るために

### いたる賛助会入会のご案内

「いたる賛助会」では、「いたるセンター」の活動を支援していただける方を募集しています。

「幸せな地域社会を作りたい」がこの会設立の趣旨であります。

年会費 1口5千円(何口でも可)  
郵便振込 001100712892  
口座 339217346 事務局 山本まで



## 事業部からの情報発信・事業所通信

### ■包括ケアセンター・グループホーム マネジャー 水谷泰三



コロナウイルスが5月のゴールデンウィーク明けに5類になり、約3~4年ぶりにグループホーム事業部の合同保護者を開催しました。8月から9月にかけて杉並区地区・世田谷区地区に分かれて、2回にわたり実施いたしました。事業計画・事業報告をはじめ、ホームの老朽化に伴う改築・移転の概要についてお伝えしました。保護者会の最後に職員を紹介を行い、普段なかなか顔を合わす機会がないご家族にとっても、職員を知ってもらう良い機会となりました。



### ■サポートウイズ マネジャー 塚田充昭

朝の空気に爽秋の気配が感じられる頃となりました。皆様におかれましては、益々ご活躍のことと拝察しております。さてこの度サポートウイズは、いたる相談室におきまして初の試みとして、プルデンシャル生命様にご協力をいただき、ご利用者様のご家族に向けた【親亡きあとの準備について聞いて話してみませんか?】と題した茶話会を、2回にわたり開催いたしました。

いたる相談室 茶話会  
～親に先立たれたら準備について 聞いて話してみませんか?～

ご相談の中で課題のあるお母さんご家族から、「親亡きあつていざ自分が先立たれたらどうするか? 他の方は何を準備しているか?」というご質問が寄せられます。親亡きあつた後の準備はご家族ご自身が準備するよりも、ケアで経験豊富な職員がサポートいたします。親亡きあつた後の準備は、ご自身だけでなく、ご家族の方へも伝える準備が大切です。子どもは、ご自身の将来の準備もご家族の方へ伝える準備が大切です。またご家族の方へ伝える準備もご家族の方へ伝える準備が大切です。

日時 ①令和5年6月14日(水) 13:30~15:30  
②令和5年6月20日(火) 13:30~15:30  
場所 阿佐谷 久遠キリスト教会 新館1F 集合所  
(杉並区阿佐谷北2-25-8)

ご参加申し込み 申込書(お名前・住所・電話番号)を  
〒166-0001 杉並区 久遠キリスト教会 事務室まで

電話 03-6383-XXXX  
メール itarucenter.com  
ショートメール XXXXXXX  
FAX XXXXXXX  
郵便 〒166-0001 杉並区

集合形式で行われた保護者会には、多くの皆様にお集まりいただきました。



参加されたご家族様からは、「漠然とした不安がすっきりした」「具体的に何をすべきか見通しがみえてきた」などのお声を頂戴しました。今後もサポートウイズは、総合相談支援センターの役割を十二分に発揮するべく、在住・在勤・各サービス事業者の連携を密にして、地域課題の解決となるような事業展開を思索して所存です。今後とも何卒ご愛顧のほど何卒宜しくお願いいたします。

### ■SDGs推進室 統括リーダー 渡邊菜都

昨年度に引き続き今年度も障害者虐待防止研修を実施いたします。平成24年度10月1日に障害者虐待防止法が施行され、この法律の中で使用者(会社)の責任として虐待防止のための措置として、従業員に研修等を行い、人権、特性の理解、接し方などを周知していく事が定められています。そのため、当法人の職員だけでなく、企業の社員様も参加していただき、杉並区障害者地域相談支援センターすまいる高井戸の春山さんと鈴木さんを講師に障害者虐待防止法の法律、制度面に関して、実際の支援に関して研修を行います。今年度は事前に質問事項を募集し、質疑応答の時間を長く設け、日ごろのメンバーへの対応でお悩みやお困りの事についてしっかりお答えしていく予定です。



### いたる広報委員

発行責任者 谷山 勝崇  
社会福祉法人いたるセンター  
〒167-0032  
東京都杉並区天沼1-15-18  
TEL: 03-3392-7346  
FAX: 03-3391-8039  
Eメール: info@itarucenter.com  
HP: http://www.itarucenter.com/  
発行日/2023年10月15日

ご意見・ご感想がありましたら、上記のFAX、Eメール等でお声をお寄せ下さい。いたる広報委員まで。

### 職員研修情報

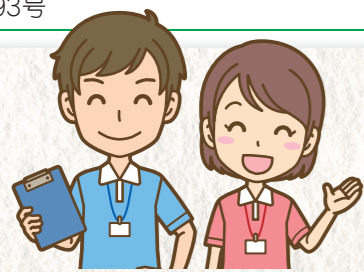
りんどう国際事務所  
代表: 中條幸子  
(臨床心理士・社会保険労務士・英検1級)

令和5年8月26日開催の第2回全体職員研修では、メイン講義「ハラスメントから、自分を、他人を守るために」を開催しました。今回もリモート研修形式で、200名を超える職員が参加。講師は評議員でもある中條幸子公認心理師で、代表的なハラスメントの理解、事例による対応等をグループワークにて検討しました。

ハラスメントから、自分を、他人を守るために③







# 事業部からの情報発信・事業所通信



## ■法人本部 人事・採用・教育・給与マネジャー 阿部信義

法人本部では、令和5年9月1日より、組織体制変更にとまない、以下のように役職・等級を改めました。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

- ・中島 学 →相談役
- ・水谷 弘 →事業執行担当 理事
- ・橋本良正 →業務執行担当 理事
- ・花山隆洋 →法人統括
- ・山本義彦 →法人本部(人事)上席研修員(のぞみ寮管理者兼務)

## ■阿佐谷福祉工房 施設長代行 樋口善明

5月12日生活介護・19日就労継続支援B型で八景島シーパラダイスへ行ってきました。コロナ禍で中止していた日帰り旅行を昨年の11月に再開し、今回に至りました。

各事業所に応援要請をし、10名以上の職員さんに来ていただきました。生活介護はホテルのレストランを貸し切りで昼食。B型はフードコートなど自由な食事をしています。そして、水族館を中心にイルカショーを見たり、島内を散歩しながらソフトクリームを食べたり、普段とは違う非日常を体験していただくことで、幸せな人生の一コマになれば嬉しい限りです。お手伝いに来て下さった皆様本当にありがとうございました。次回は11月を予定しています。



両日ともお天気に恵まれ、楽しい日帰り旅行になりました！

## ■クローバー・マルコ 統括リーダー 加藤大貴

阿佐谷福祉工房・クローバーの屋舎を建て替えてから、10年以上が経ちました。ご利用者にもご好評を頂いている施設内の雰囲気ですが、備品等が老朽化しているところもあるため、職員一同で話し合いながら、少しずつ備品等の入れ替えを行っています。特にベランダタイルの老朽化もあり、ガーデニングや玄関先の整備を予定しており、ご利用者の方に安心して来所していただけるような「くつろげる空間」をテーマにリニューアルを行っております。また、職員一人一人が意見を言える場とワークライフバランスを意識した職場環境作りを行い、働きやすい職場を目指しております。



## ■目黒本町福祉工房 施設長 池田佳津男

8月9日、生活介護事業部は音楽クラブの林講師にお手伝いをして頂き「盆踊り」を行いました。法被や提灯などで雰囲気を高め、ご利用者はもちろん職員も一緒になって踊り、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。行事の開催にはまだ何かと制限もあるので、このような催しがご利用者のストレス発散の一助となればと思っています。

就労継続支援B型はキッチンカーにてカレー販売を行っていますが、このたび小回りの良く可愛いキッチンカーに買い替えることになりました。今後も目黒本町福祉工房が中心となりキッチンカーを稼働させますが、いたるセンターとしても法人をあげてキッチンカーでの販売を強化し、ご利用者の工賃アップに積極的に取り組む所存です。



## ■すまいる高井戸 センター長 阿久津庄司

8月1日付で、すまいる高井戸のセンター長に就任しました。阿久津庄司です。すまいるには、MGとして、また今年度からは相談員としても週1日のみ携わってはきましたが、私自身の障害者支援の経験は長年現場での支援経験のみで、相談支援業務は今回が初めてになります。

就任後約2か月経過していますが、各相談員が多岐にわたる相談や関連業務を当たり前のようにこなす場面に日々直面し、感心しきりの毎日です。すまいる高井戸の開始から10年。ずっとすまいるの先頭に立ち、支えてきた春山元センター長の存在の大きさを改めて実感しつつ、新センター長として、区の地域福祉の更なる向上や関係機関との連携を深め、そして相談員それぞれが、すまいるを利用される方々に対して、真摯に思いを受け止め、寄り添える支援を目指してまいります。



## ■ピヨピヨおうちえん マネジャー 大上茂樹

いつまでも暑い日が続き、子ども達の楽しみにしているお散歩ができない日が多いのですが、そんな日は小さなプールを用意しての簡単な水遊びで暑さを吹き飛ばしています。

そのような中、駅前園では保護者との懇談会を行い、運動指導員を長く経験した保育士を中心に、小さな木魚やツリーチャイム等を使っの音遊びや、布を使っの表現遊び等を楽しみました。

11月には来年4月からの入園受付が開始されます。杉並区では待機児童ゼロを達成していますが、少しでも良い園を選ぼうと、保育園の見学を希望する保護者が毎日のように来園されています。子ども達の笑顔いっぱいの活動を見て頂き、ぜひ多くの方にピヨピヨおうちえんを希望して頂きたいと思っております。



保護者の皆様にも「表現遊び」に参加していただきました！

## ■イタル成城 施設長 五木田義之

地域の夏祭りを共催しました。趣旨は、世代間交流と成城8・9丁目を中心とした近隣の皆さまが孤立せず、支えあえる関係作りを促進するためでしたが、障害福祉の理解・普及啓発を目的に追加していただき、イタル成城だけでなく、法人としても多くの出店をいただきました。たくさんのご参加、ご来場賜りありがとうございました。施設を開放しての共催は初めてでしたが、社協さんをはじめ、エリザベト成城さん、つくしんぼ保育園さん、松沢病院さん等地域の関係諸機関と協働で実施することの意義と可能性を感じた一日となりました。夕暮れ、浴衣姿の親子がふらっと施設に足を踏み入れるのを見て「つながる」ってやっぱりいいなあと思いました。今回は職員有志の参加でしたが、次年度は利用者のみならずにも感じてもらえる工夫をしてみたいと思います。



【開催日時8/28(日)14:00~16:00】 【来場者数:最大189名】 【売上】目黒本町福祉工房¥5,800(代理販売)、あけぼの作業所¥2,150(代理販売)、イタル成城¥16,200、PUKUPUKU:¥22,000(新作カツサンド最高でした!池田さん、販売員さん、ご協力ありがとうございました。)

利用者で作った手作りの看板と、打ち合わせ後持ち場につく関係者スタッフ



## ■パン工房プクプク 統括リーダー 池田史暢

2023年4月より中野区の区立保育園全国におやつ用パンの供給が始まりました。杉並区立保育園、中野区立保育園と二区にまたがり、公立の保育園全国の保育園児の皆様にパンの提供が行われたことになりました。加えて、近隣の民間保育園も含め100の事業所と取り引きを現時点で行っております。これもひとえにスタッフ・ご利用者様の日々の精勤の結果と感じております。これからも変わらずに安全・安心なパン・焼き菓子の提供を通して地域に根差した事業の展開をしていきたいと思っております。



各保育園に配達されるのを待つ、焼き立てのパンたち。

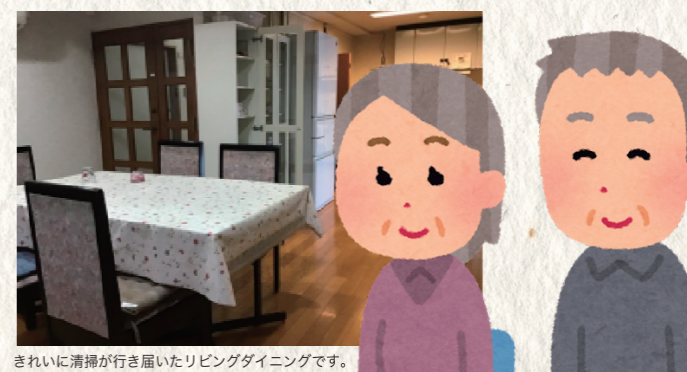
## ■あけぼの作業所 施設長 山田弘子

5月26日、6月2日の2回にわかれて、日帰り旅行に行きました。3年ぶりの旅行であり、ご利用者のテンションは高め!職員は不安でいっぱい。そんな感じて迎えた旅行当日。ご利用者の笑顔に職員も自然と笑顔になり、旅行を楽しむことができました。作業所に戻ってからも、お土産を見せ合っている姿がみられ、「楽しかった」「ありがとう」との言葉が聞かれ、ご利用者も職員もパワーチャージできた1日でした。「来年も旅行に行ける?」「来年はどこに行く?」ご利用者は来年の話をしています!



## ■のぞみ寮 管理者 山本義彦

「のぞみ寮」は、いたるセンターが指定管理を受けて5年目になる目黒区立の施設です。グループホーム6部屋、ショートステイ1部屋があり、グループリーダー以下常勤・非常勤あわせて6名の職員が日々の支援にあたっています。楽しい旅行の準備や、目黒さんまつりへの参加など、利用者のみなさんが地域で自立した生活をするため、一人ひとりに寄り添ったサポートを心がけています。現在の課題は高齢化の進んだ利用者の健康を維持することです。職員はできるだけ通院に同行し、服薬の確認や体調変化の観察などこまめな気配りで健康管理に努めています。



きれいに清掃が行き届いたリビングダイニングです。